

1. 日 時 : 令和6年1月29日 (水) 17:50 ~ 18:45
2. 場 所 : 特別会議室(管理棟3階)
3. 出席者 : 古宮委員長、藤本委員、村上委員、関委員、山脇委員、佐藤委員、常風委員、金子委員、中原委員、坂口委員、池澤委員
4. 陪席者 : 総務企画課 研究推進室 早尻、森田
5. 議 事 : 臨床研究等利益相反マネジメント委員会に諮った申請において、COIに問題が無いことが確認された。

新規申請**(1) 頸椎椎弓形成術後急性期痛に対するステロイドの除痛効果**

(2023-117)

研究責任者: リハビリテーション部 助教 青山 直樹

研究責任者のリハビリテーション部 助教 青山 直樹から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、別紙のとおり指摘があり、継続審査となった。

(2) アトピー性皮膚炎の患者の皮膚バリア機能促進モデルの開発

(2023-118)

研究責任者: 看護学部門 教授 山脇 京子

研究責任者の看護学部門 教授 山脇 京子から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、別紙のとおり一部修正の上、承認となった。

迅速申請**(1) BRCA遺伝学的検査に関するデータベースの作成**

(28-4)

研究者: 乳腺センター 部長 杉本 健樹

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(2) 多層性オミクス解析による疾患病態の解明

(30-34)

研究者: 皮膚科学 教授 中井 浩三

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(3) 空間中に存在する新型コロナウイルスの検出機器システムの検証

(2020-83)

研究者: 環境医学 特任教授 荻野 景規

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(4) 日本における掌蹠膿疱症 (PPP) の治療パターン、疾病負担および治療アウトカムのレジストリ試験

(2021-8)

研究者: 皮膚科学 教授 中井 浩三

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(5) 術前膿尿が5-アミノレブリン酸を用いた光線力学的診断の診断精度に与える影響

(2021-90)

研究者: 泌尿器科学 教授 井上 啓史

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(6) 自己免疫性膵炎臨床診断基準2018の検証

(2021-112)

研究者: 消化器内科学 教授 内田 一茂

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(7) 消化器癌内視鏡検体を用いた患者由来スフェロイド培養モデルの樹立に関する研究

(2022-27)

研究者: 腫瘍内科学 教授 佐竹 悠良

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(8) 保険データベース病名の妥当性の検証

(2023-51)

研究者: 臨床疫学 特任教授 佐田 憲映

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(9) 絞扼性腸閉塞におけるICG蛍光法による血流評価-多施設共同前向き観察研究-

(2023-63)

研究者: 外科学(消化器外科学) 病院教授 並川 努

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(10) 尿管動脈瘤および気管腕頭動脈瘤に対するステントグラフト留置後の長期経過の再発について

(2023-73)

研究者: 放射線診断・IVR学 医員 柴田 純季

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(11) 術中経食道心エコープローブによる胃損傷の要因に関する検討

(2023-110)

研究者: 麻酔科学・集中治療医学 特任教授 渡橋 和政

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(12) 映像式モーションキャプチャーを用いた新たな変形性膝関節症患者の歩行評価方法

(2023-109)

研究者: 整形外科学 助教 杉村 夏樹

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(13) 鼻すすり型耳管開放症を伴う真珠腫性中耳炎の術後経過

(2023-102)

研究者: 耳鼻咽喉科学 病院教授 小林 泰輔

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(14) 前捻角が大腿骨頸部骨密度の測定値に与える影響について

(2023-103)

研究者: 放射線部 診療放射線技師 一円 善史

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(15) 合併症削減を目指した高知家レシピに基づく膵頭十二指腸切除術手技標準化の成果

(2023-104)

研究者: 外科学(消化器外科学) 助教 宗景 匡哉

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(16) 手術部熟達看護師の術中看護における臨床判断の特徴—臨床判断モデルを用いて分析する—

(2023-105)

研究者: 看護部 看護師 伊與木 健二

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(17) 術後せん妄を早期に予測する生化学マーカーの検討

(2023-107)

研究者: 麻酔科学・集中治療医学 教授 河野 崇

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(18) COVID-19パンデミックが消化器領域癌手術に与えた影響 -施設間格差の検討-

(2023-108)

研究者: 外科学(消化器外科学) 講師 前田 広道

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(19) COVID-19パンデミックが消化器領域癌手術に与えた影響 -施設間格差の検討-

(2023-108)

研究者: 外科学(消化器外科学) 講師 前田 広道

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(20) IVB 期子宮頸癌に対する化学療法・骨盤部放射線治療の多施設共同調査研究

(2023-111)

研究者: 産科婦人科学 助教 松浦 拓也

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(21) 働き方改革に向けた地方大学の取り組み

(2023-106)

研究者: 心臓血管外科 准教授 中村 裕昌

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(22) 20歳代アトピー性皮膚炎経験者のセルフマネジメントの実態

(2023-113)

研究者: 看護学部門 教授 山脇 京子

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

審議事項

(1) 高知大学医学部倫理委員会規則の一部改正について

古宮委員長から、関係資料に基づき説明が行われ審議の結果、原案通り承認された。

(2) 臨床研究等利益相反マネジメント委員会、医学部倫理委員会及び臨床研究審査委員会における会議へのウェブ参加の方法について

古宮委員長から、関係資料に基づき説明が行われ審議の結果、原案通り承認された。